(19)日本国特許庁(JP)　(12)登録実用新案公報(U)　(11)実用新案登録番号
実用新案登録第3100329号
(U3100329)
(45)発行日　平成16年5月13日(2004.5.13)　(24)登録日　平成15年12月24日(2003.12.24)

(51)Int.Cl.[7]	F I		
B06B 1/12	B06B	1/12	K
A61F 9/04	A61F	9/04	300
A61H 7/00	A61H	7/00	102
A61H 23/02	A61H	23/02	330
B06B 1/04	B06B	1/04	S

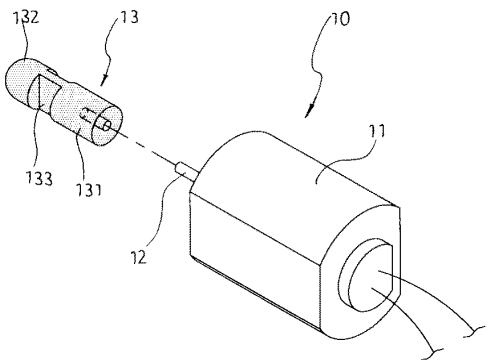
評価書の請求 未請求　請求項の数 6　ＯＬ　（全 10 頁）

(21)出願番号　実願2003-271077(U2003-271077)
(22)出願日　平成15年9月9日(2003.9.9)

(73)実用新案権者　599089251
林　炳宏
台湾　台北市内湖區五分街２２號５樓
(74)代理人　100082304
弁理士　竹本　松司
(74)代理人　100088351
弁理士　杉山　秀雄
(74)代理人　100093425
弁理士　湯田　浩一
(74)代理人　100102495
弁理士　魚住　高博
(74)代理人　100112302
弁理士　手島　直彦
(72)考案者　林　炳宏
台湾　台北市内湖區五分街２２號５樓

(54)【考案の名称】遠心式回転動力装置及びそれを運用した按摩器

(57)【要約】
【課題】　遠心式回転動力装置及びそれを運用した按摩器の提供。
【解決手段】　モータの原動軸に投擲手段が設けられ、該投擲手段の根部と端部が重量比を有し、端部と根部の連接部分がフレキシブル状態とされ、原動軸が回転する時、投擲手段の端部が遠心作用によりねじれ力を具えた投擲遠心力を形成し、原動軸の回転速度の変化により投擲手段の投擲按摩力が改変し、これにより按摩力を調整できる。これを運用した按摩器は、フレキシブルなカバーを具え、人体各部に密着し、且つカバーが細微な変形可能で放置と取り出しに便利でカバー内に遠心式回転動力装置が適当な分布形式で設けられて、コントローラーの回路制御により遠心式回転動力装置の運転と按摩力に変化を発生させて全面式指圧按摩動態効果を得られるようにしている。
【選択図】　図１



【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
モータの原動軸に投擲手段が設けられ、該投擲手段の根部と端部が重量比を有し、端部と根部の連接部分がフレキシブル状態とされ、原動軸が回転する時、投擲手段の端部が遠心作用によりねじれ力を具えた投擲遠心力を形成することを特徴とする、遠心式回転動力装置。
【請求項２】
請求項１記載の遠心式回転動力装置において、投擲手段の端部と根部の連接部分に切欠きが設けられたことを特徴とする、遠心式回転動力装置。
【請求項３】
請求項１記載の遠心式回転動力装置において、投擲手段の端部にネジ孔が設けられて該ネジ孔を利用してウエイトが増設されたことを特徴とする、遠心式回転動力装置。
【請求項４】
遠心式回転動力装置を運用した按摩器において、カバー、複数の固定座、二つのバンド、コントローラーを具え、
該カバーは前片と後片が組み合わされてなり、内部に固定片が設けられて該固定片に固定座、遠心式回転動力装置が設置され、前片と後片及び固定片が軟性材料で形成され、
該複数の固定座はカバー中に分布し、複数の遠心式回転動力装置の設置に供され、
該二つのバンドはカバーの後片の二側に設けられ、
該コントローラーはその一端が導線でカバーに接続され、内部に電池装置と制御回路を具え、表面に複数のコントロールスイッチを具え、該コントローラーに変圧器が接続され、
コントローラーの回路及びコントロールスイッチの制御により、複数の遠心式回転動力装置の運転と按摩力に交錯変化ジャンプ循環式の運動状態が形成され、眼部に全面式振動指圧動作に類似の按摩動態効果を提供することを特徴とする、遠心式回転動力装置を運用した按摩器。
【請求項５】
請求項４記載の遠心式回転動力装置を運用した按摩器において、固定座に二つの相互に対応する係止フレームが設けられて、該係止フレームにより遠心式回転動力装置が固定され、別に遮片が設けられて遠心式回転動力装置の保護が強化されたことを特徴とする、遠心式回転動力装置を運用した按摩器。
【請求項６】
請求項４記載の遠心式回転動力装置を運用した按摩器において、カバーの後片の後ろ表面に眼部のツボに対応する按摩凸点が設けられたことを特徴とする、遠心式回転動力装置を運用した按摩器。
【考案の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本考案は一種の遠心式回転動力装置及びそれを運用した按摩器に関する。本考案の遠心式回転動力装置は一般の偏心ブロックを設けた振動モータとは異なり、回転動力装置に接合された投擲手段が遠心作用により適当なねじれ力を有する投擲力を形成でき、全面式指圧動作に類似の按摩力を提供でき、且つ投擲手段の投擲遠心力を改変することにより、按摩力の大きさを調整できる。これを運用した按摩器は体積が小さく、出し入れに便利で、按摩力が交錯変化循環し按摩力が全面的に均一である等の効果を有する。
【背景技術】
【０００２】
工業商業の発展により、現代人は長期にわたり仕事に追われることが多いが、眼を適当に休ませなければ、眼部が退化する。台湾の視力不良の人は約１００万人とされ、小学生のうち、視力の弱い者は５０％、高校生、中学生のうち、近視の者は８６％にもなり、このような驚くべき数字は、近視の低年齢化を示しており、毎年視力不良の者は平均して１

０％ずつ増えている。
【０００３】
都市化の結果、ビルが隣接し、学童は狭い生活空間に暮らし、近距離のものを見る時間が長くなり、またテレビゲームの流行に、不良な書籍の氾濫が加わり、結果として、今日の近視児童はますます増加している。
【０００４】
このほか、絶対多数の自動は近視初期に早期治療を受けることがなく、分かった時にはすでに重度の近視になっており、回復が難しくなっている。もし平時に眼を保養しなければ矯正は更に難しい。
【０００５】
このため、いかに眼部を保養して疲労を除去してリラックスさせるかが、現代生活では重視され、近年、多くの眼部保健のための製品が出現している。しかしこれらは大型の治療器材であるか或いは単一機能しか有しておらず、使用者の操作に不便であるほか、その構造機能上も理想的なものではない。
【０００６】
特許文献１に記載の「按摩眼鏡」、特許文献２に記載の「眼部按摩器」は、主要な構造が、振動モータを具えた眼鏡とされ、眼鏡のリムの内側に複数の按摩凸粒が設けられている。使用時にはモータにより偏心ブロックを駆動し、眼鏡のリム全体を軽微に振動させ、これにより各凸粒にその接触している部分に対して振動按摩の作用を発生させる。このような構造は多くの欠点を有している。例えば、１．振動モータに設けられた偏心ブロックは撓み性変形を形成しうる投擲動作を形成できず、ゆえに振動点が固定状とされ、按摩効果がほぼ点式であり、大面積の拡散振動を形成できず、人体が受ける按摩感覚が良くない。２．そのリムは撓み性を具備せず、人体の眼部に当接させるため外形設計が円弧造形とされているが、このために平らに放置収納するのに不利であり、場所をとり携帯に不便である。３．振動モータがリムの中間に設けられ、その振動按摩効果はリムの各部分で異なり、眼鏡のリムの最も外側の二側は振動モータから最も離れているため、その受けられる振動按摩力が最小であり、ゆえに眼鏡全体の振動按摩力が全面拡散式ではない。
【０００７】
ゆえに、上述の周知の眼部按摩器は、その構造上、多くの欠点を有しており、改良の必要があった。
【０００８】
【特許文献１】台湾特許公告第１０９１９５号明細書
【特許文献２】台湾特許公告第３６６８０３号明細書
【考案の開示】
【考案が解決しようとする課題】
【０００９】
本考案の目的は、全面式振動指圧動作に類似の按摩力を形成できる遠心式回転動力装置を提供することにある。その構造は、モータの原動軸に投擲手段を接合し、該投擲手段の根部と端部に重量比を設け、端部と根部の連接部分をフレキシブル状態となし、これにより原動軸が回転する時に、投擲手段の端部が遠心作用により適当なねじれ力を具えた投擲力を形成し、全面式振動指圧動作に類似の按摩力を提供できるようにする。
【００１０】
本考案のもう一つの目的は、その形成する振動按摩力を調整できる遠心式回転動力装置を提供することにある。その構造は、電子式の制御によりモータの電圧を改変することにより、原動軸の回転速度に変化を発生させて、投擲手段の投擲遠心力を改変し、按摩力を調整するものとする。
【００１１】
本考案の第３の目的は、全面式振動指圧按摩動態効果を提供できる按摩器を提供することにある。その構造は、カバー内に複数の遠心式回転動力装置を適当な分布形式で設け、並びにコントローラーの回路制御により、遠心式回転動力装置の運転と按摩力に交錯変化

ジャンプ循環式の運動状態を形成させるものとする。

【００１２】

本考案の第４の目的は、平らに放置でき取り出しが容易である按摩器を提供することにある。それはフレキシブルなカバーを具えて人体各部例えば眼部に密着でき、且つカバーが細微な変形可能で平らに放置したり取り出すのに便利であるものとする。

【課題を解決するための手段】

【００１３】

請求項１の考案は、モータの原動軸に投擲手段が設けられ、該投擲手段の根部と端部が重量比を有し、端部と根部の連接部分がフレキシブル状態とされ、原動軸が回転する時、投擲手段の端部が遠心作用によりねじれ力を具えた投擲遠心力を形成することを特徴とする、遠心式回転動力装置としている。

請求項２の考案は、請求項１記載の遠心式回転動力装置において、投擲手段の端部と根部の連接部分に切欠きが設けられたことを特徴とする、遠心式回転動力装置としている。

請求項３の考案は、請求項１記載の遠心式回転動力装置において、投擲手段の端部にネジ孔が設けられて該ネジ孔を利用してウエイトが増設されたことを特徴とする、遠心式回転動力装置としている。

請求項４の考案は、遠心式回転動力装置を運用した按摩器において、カバー、複数の固定座、二つのバンド、コントローラーを具え、

該カバーは前片と後片が組み合わされてなり、内部に固定片が設けられて該固定片に固定座、遠心式回転動力装置が設置され、前片と後片及び固定片が軟性材料で形成され、

該複数の固定座はカバー中に分布し、複数の遠心式回転動力装置の設置に供され、

該二つのバンドはカバーの後片の二側に設けられ、

該コントローラーはその一端が導線でカバーに接続され、内部に電池装置と制御回路を具え、表面に複数のコントロールスイッチを具え、該コントローラーに変圧器が接続され、

コントローラーの回路及びコントロールスイッチの制御により、複数の遠心式回転動力装置の運転と按摩力に交錯変化ジャンプ循環式の運動状態が形成され、眼部に全面式振動指圧動作に類似の按摩動態効果を提供することを特徴とする、遠心式回転動力装置を運用した按摩器としている。

請求項５の考案は、請求項４記載の遠心式回転動力装置を運用した按摩器において、固定座に二つの相互に対応する係止フレームが設けられて、該係止フレームにより遠心式回転動力装置が固定され、別に遮片が設けられて遠心式回転動力装置の保護が強化されたことを特徴とする、遠心式回転動力装置を運用した按摩器としている。

請求項６の考案は、請求項４記載の遠心式回転動力装置を運用した按摩器において、カバーの後片の後ろ表面に眼部のツボに対応する按摩凸点が設けられたことを特徴とする、遠心式回転動力装置を運用した按摩器としている。

【考案の効果】

【００１４】

本考案の遠心式回転動力装置は全面式振動指圧動作に類似の按摩力を提供でき、且つ按摩力の大きさを調整でき、この遠心式回転動力装置を運用した按摩器は体積が小さく、収納取り出しに便利で、按摩力が交錯変化循環し按摩力の全面均一化を達成でき、周知の偏心ブロックを利用した振動式眼部按摩器の欠点を改善し、実用性に優れている。

【００１５】

以下の実施例は本考案の実施範囲を限定するものではなく、本考案に基づきなしうる細部の修飾或いは改変は、いずれも本考案の請求範囲に属するものとする。

【考案を実施するための最良の形態】

【００１６】

本考案の遠心式回転動力装置は、モータの原動軸に投擲手段が設けられ、該投擲手段の根部と端部が重量比を有し、端部と根部の連接部分がフレキシブル状態とされ、原動軸が回転する時、投擲手段の端部が遠心作用によりねじれ力を具えた投擲遠心力を形成し、一

般の振動モータの偏心ブロックの固定式回転とは異なり、全面式振動の指圧動作に類似の按摩力を形成するのに供され、また原動軸の回転速度の変化により投擲手段の投擲按摩力が改変し、これにより按摩力を調整できる。これを運用した按摩器は、フレキシブルなカバーを具え、人体各部に密着し、且つカバーが細微な変形可能で放置と取り出しに便利でカバー内に遠心式回転動力装置が適当な分布形式で設けられて、コントローラーの回路制御により遠心式回転動力装置の運転と按摩力が交錯変化するジャンプ循環式の運動状態を形成でき、全面式指圧按摩動態効果を得られる。

【実施例１】

【００１７】

図１及び図２のａに示されるように、本考案の遠心式回転動力装置１０は、モータ１１の原動軸１２に投擲手段１３が設けられてなり、該投擲手段１３の根部１３１と端部１３２が適当な重量比率とされ、端部１３２が原動軸１２の駆動を受けて回転する時に遠心式の投擲動作を形成を形成し、端部１３２と根部１３１の連接部分に切欠き１３３が設けられ、投擲手段１３材料はゴムで製造され、これにより端部１３２がフレキシブルな状態とされる。

【００１８】

図２のｂ及びｃに示されるように、本考案の遠心式回転動力装置１０はモータ１１を利用し原動軸１２を回転させる時、投擲手段１３の端部１３２が遠心作用により適当なねじれ力を具えた投擲力を形成する。これは一般の振動モータの偏心ブロックの固定式回転とは異なり、一種の全面式振動指圧動作に類似の按摩力を形成できる。また電子式の制御によりモータ１１の電圧を改変することにより、原動軸１２に回転速度変化を発生させて、投擲手段１３の投擲遠心力を改変して按摩力を改変できる。図２のｂは原動軸１２の回転速度が遅い時で、投擲手段１３の投擲遠心力が比較的小さい状態を示している。図２のｃは原動軸１２の回転速度が速い時で、投擲手段１３の投擲遠心力が比較的大きい状態を示している。

【００１９】

図３は本考案の遠心式回転動力装置１０の投擲手段１３の各種の異なる形状を示す。図３のＡは投擲手段１３の端部１３２が双頭状とされて、投擲手段１３の投擲遠心力が増されている。

【００２０】

図４は本考案の遠心式回転動力装置１０の投擲手段１３にネジ孔が設けられてウエイト１３４が増設された実施例を示し、これもまた投擲手段１３の投擲遠心力を増すことができる。

【００２１】

図１４、図１５を参照されたい。本考案の遠心式回転動力装置１０の投擲手段１３は回転時に適当なねじれ力の投擲力は、原動軸１２にぐらつき現象と雑音を発生させうる。本考案は投擲手段１３の根部１３１とモータ１１の間の原動軸１２にサスペンション、例えば軟質パッド１３５、弾性手段１３６等を設けて、有効に振動の力を分散及び吸収する。

【００２２】

図５、図６を参照されたい。本考案の遠心式回転動力装置を運用した按摩器（本考案は眼部按摩器を好ましい実施例トスル）は、構造上、カバー２０を具え、それは前片２１、後片２２が組み合わされてなり、前片２１、後片２２の材質な潜水布のような軟質材料で製造されて適当な撓み性を具備し、前片２１の前表面に銘板２１１が設けられ、商標或いは広告文、イメージを設けることができ、後片２２の後ろ表面に眼部のツボに対する按摩凸点２２１が設けられている。カバー２０中に軟性固定片２０１が設けられて固定座３０、遠心式回転動力装置１０が設置される。該固定座３０は図７も参照されたいが、硬質材料で形成され、並びに適当な分布形式でカバー２０中に設けられ、且つ固定座３０に二つの相互に対応する係止フレーム３１が設けられ、直接遠心式回転動力装置１０が固定され、別に遮片３２により遠心式回転動力装置１０に対する保護が強化されている。二つのバンド４０が後片２２の二側に設置されて適当な弾性を具えると共に、粘着部４１が設けら

れ、カバー２０を人体眼部に緊縛固定するのに供され、並びに緊張程度を調整できるものとされる。コントローラー５０は、一端が導線５１でカバー２０に接続され、内部に電池と制御回路が設けられ、表面に複数のコントロールスイッチ５０１が設けられ、カバー２０内の遠心式回転動力装置１０の動力を提供すると共に、各遠心式回転動力装置１０の動作フローと按摩力の大きさを制御するのに用いられ、コントローラー５０は別に変圧器５２に接続されて一般のコンセントと外接して使用できるものとされる。

【００２３】

図８に示されるように、本考案のカバー２０は、フレキシブル材料で形成され、適当に変形可能で、カバー２０が人体眼部にフィット可能であり、且つカバー２０は平らに放置することができ、収納、取り出しに便利である（図９参照）。

【００２４】

図１０に示されるように、本考案の按摩器は使用時に人体の眼部に装着され、カバー２０中に設けられた複数の遠心式回転動力装置１０は本実施例では三つ設けられている。そのうち二つはカバー２０の二側に横向きに設置され、中間は立設状とされ、コントローラー５０の回路及びコントロールスイッチ５０１の制御により、複数の遠心式回転動力装置１０の運転と按摩力に交錯変化ジャンプ循環式の運動状態が形成され、眼部に全面式振動指圧動作に類似の按摩動態効果を形成する。複数の遠心式回転動力装置１０の運転時にコントローラー５０を利用して按摩力の大きさを調整することができる。

【００２５】

図１１を参照されたい。この実施例では、本考案の按摩器のカバー２０に設けられた複数の遠心式回転動力装置１０がいずれも立設状とされている。図１２の実施例では複数の遠心式回転動力装置１０がカバー２０の二側で傾めに設置され、中間が立設状とされ、これらの実施例も眼部に対する全面式振動指圧動作に類似の按摩動態効果を形成できる。

【００２６】

図１３に示されるように、本考案の按摩器はカバー２０の後ろ表面に眼部のツボに対応する按摩凸点２２１が設けられ、眼部周囲のツボに対して刺激が行なえ、血液の循環を促進し、眼部按摩の効果を増すことができる。

【図面の簡単な説明】

【００２７】

【図１】本考案の遠心式回転動力装置の分解斜視図である。

【図２】本考案の遠心式回転動力装置の静止時及び運転時の各種運動状態表示図である。

【図３】本考案の遠心式回転動力装置の各種の異なる構造実施例表示図である。

【図４】本考案の遠心式回転動力装置の投擲手段の前方にウエイトを増設した断面図である。

【図５】本考案の遠心式回転動力装置を運用した按摩器の斜視図である。

【図６】図５の構造立体分解図である。

【図７】本考案のモータの固定座の分解斜視図である。

【図８】本考案の遠心式回転動力装置を運用した按摩器の平面視による断面図である。

【図９】本考案の遠心式回転動力装置を運用した按摩器を平らに放置した時の平面視による断面図である。

【図１０】本考案の遠心式回転動力装置を運用した按摩器の内部に設けられた遠心式回転動力装置の異なる分布形態の実施例表示図である。

【図１１】本考案の遠心式回転動力装置を運用した按摩器の内部に設けられた遠心式回転動力装置の異なる分布形態の実施例表示図である。

【図１２】本考案の遠心式回転動力装置を運用した按摩器の内部に設けられた遠心式回転動力装置の異なる分布形態の実施例表示図である。

【図１３】本考案の遠心式回転動力装置を運用した按摩器に設けられた凸点の眼部に対する按摩の実施例表示図である。

【図１４】本考案の遠心式回転動力装置にサスペンションを増設した構造表示図である。

【図１５】本考案の遠心式回転動力装置にサスペンションを増設したもう一つの構造表示

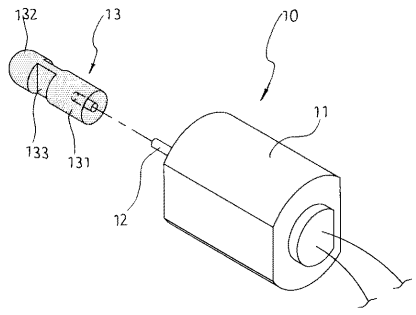
図である。

【符号の説明】

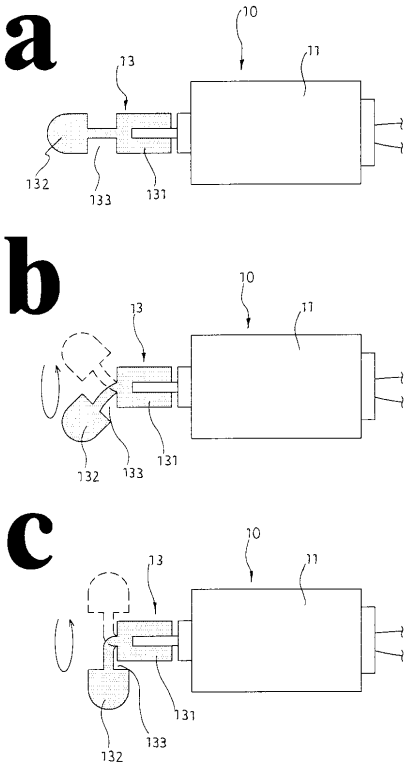
【００２８】

１０　遠心式回転動力装置
１１　モータ
１２　原動軸
１３　投擲手段
１３１　根部
１３２　端部
１３３　切欠き
１３４　ウエイト
１３５　軟質パッド
１３６　弾性手段
２０　カバー
２０１　固定片
２１　前片
２１１　銘板
２２　後片
２２１　凸点
３０　固定座
３１　係止フレーム
３２　遮片
４０　バンド
４１　粘着部
５０　コントローラー
５０１　コントロールスイッチ
５１　導線
５２　変圧器

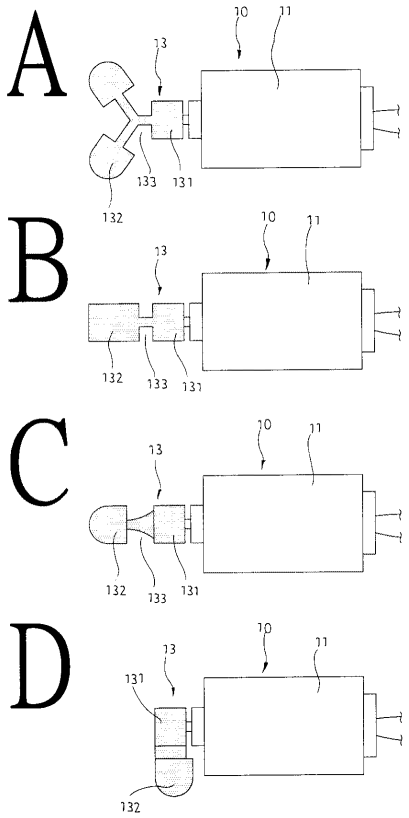
【図１】



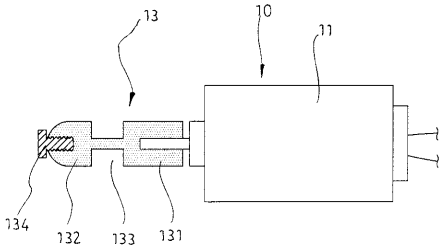
【図２】



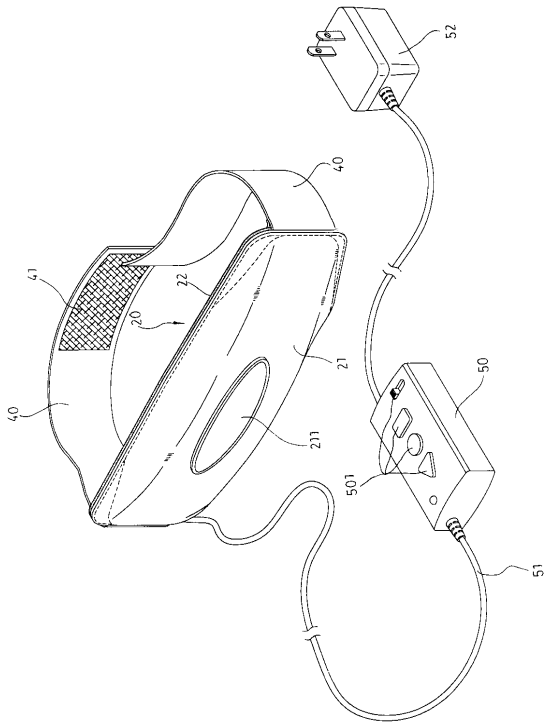
【図３】


A
B
C
D
10
11
13
131
132
133

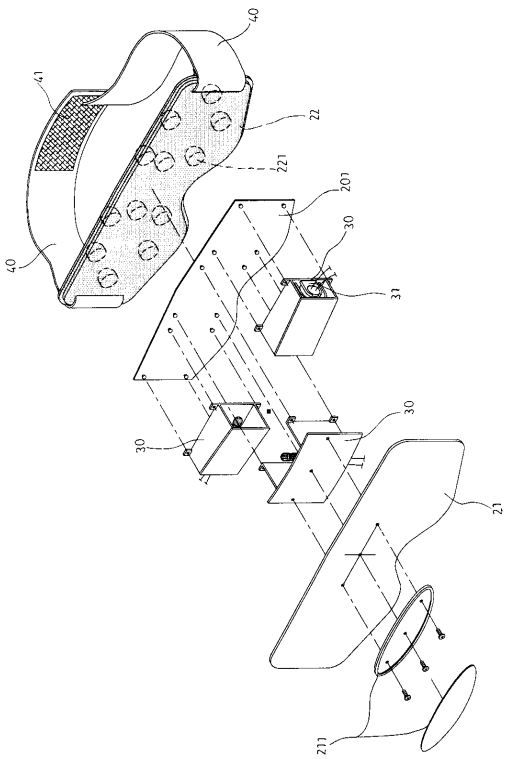
【図４】


13
10
11
134
132
133
131

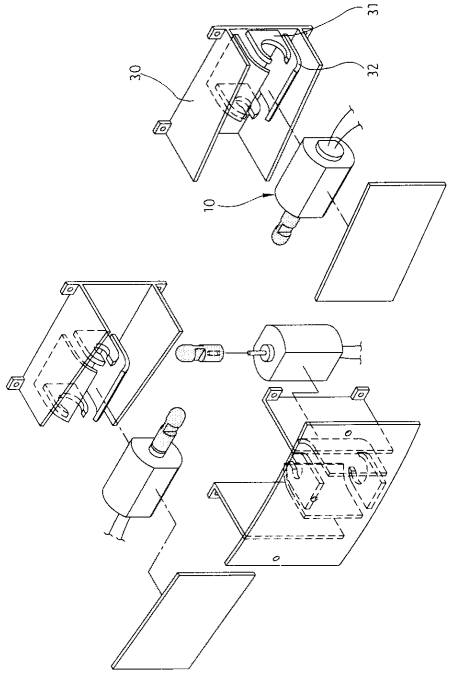
【図５】


52
40
41
22
20
21
211
50
501
51

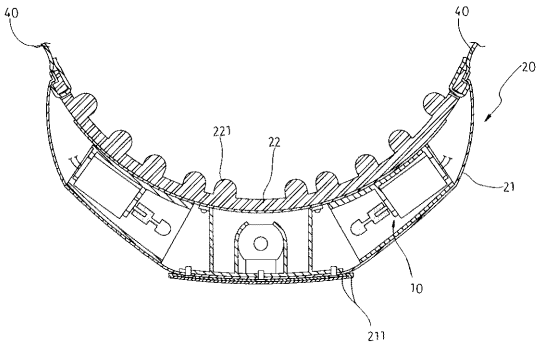
【図６】


40
41
22
221
201
30
31
21
211

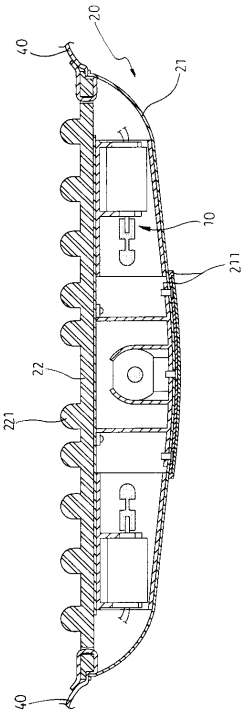
【図７】


31
30
32
10

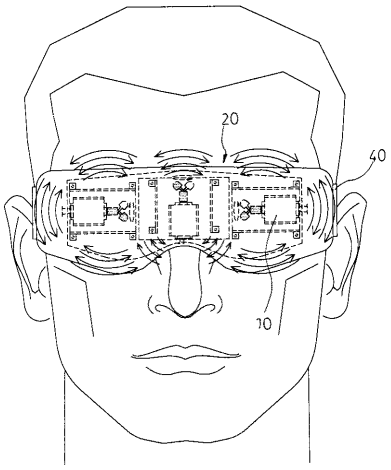
【図８】


40
40
20
221
22
21
10
211

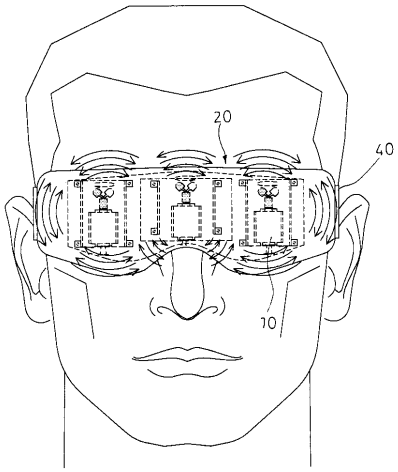
【図９】


20
40
21
10
211
22
221
40

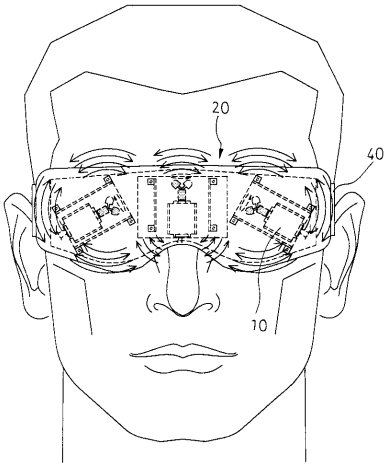
【図１０】


20
40
10

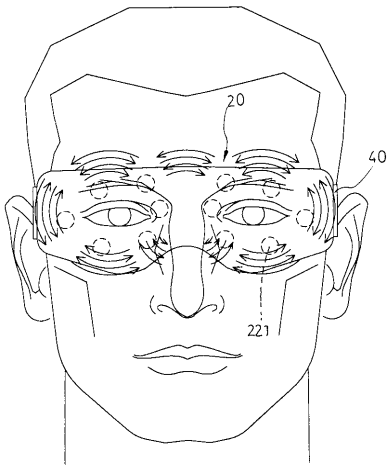
【図１１】



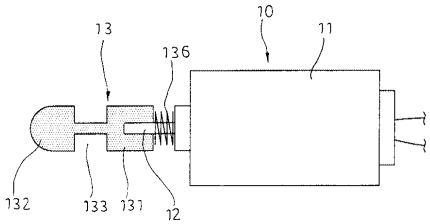
【図１２】



【図１３】



【図１５】



【図１４】

